

奈良県教育委員会

週報

第2246号

平成28年5月12日発行

目 次

(件 名)	(宛 先)	(主管課)	(頁)
平成28年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習の実施について	各市町村教委教育長 各学校(園)長	教職員課	1
「大学院修学休業制度」による教員の大学院研修について	各市町村教委教育長 各公立小・中学校長 各県立学校長	教職員課	8
平成29年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験の実施について	各市町村教委教育長 各学校(園)長	教職員課	20
平成28年度奈良県中学校理科教育研究会研究総会の開催について	各市町村教委教育長 各中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	31
平成29年度奈良県立高等養護学校入学者選抜要項について	各市町村教委教育長 各公立中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	33
平成28年度奈良県小学校教科等研究会音楽部会前期研究大会及び総会の開催について	各市町村教委教育長 各小学校長 各特別支援学校長	学校教育課	37
平成28年度における教科書展示会の開催について	各市町村教委教育長 各学校長	学校教育課	39
平成28年度第1学期奈良県算数数学教育研究発表会の開催について	各市町村教委教育長 各小・中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	41
平成28年度奈良県小学校体育研究会前期研究大会の開催について	各市町村教委教育長 各小学校長 各特別支援学校長	保健体育課	44

(次の週報は、平成28年5月26日(木)発行の予定です。)

平成28年5月12日

各市町村教委教育長
各学校（園）長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成28年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習の 実施について

このことについて、下記により実施しますので、教職員にお知らせいただきますようお願いいたします。

記

1 目的

教育職員免許法（昭和24年法律第147号）の規定に基づき、教職員に対し免許状取得に必要な単位を修得する機会を与え、ひいては教職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2 講習会場

奈良教育大学（奈良市高畑町）

3 講習期間

第1講座 平成28年8月22日（月）、8月23日（火）

第2講座 平成28年8月29日（月）、8月30日（火）

4 受講資格

(1) 幼稚園、小学校又は中学校教諭の1種免許状を取得する場合

幼稚園、小学校又は中学校教諭の2種免許状を有し、現在幼稚園、小学校又は中学校（特別支援学校の幼稚部、小学部、中学部及び中等教育学校の前期課程を含む。）に勤務している教員

(2) 特別支援学校教諭1・2種免許状を取得する場合

ア 幼稚園、小学校、中学校又は高等学校教諭の免許状を有し、現在学校に勤務している教員（2種免許状を取得する場合）

イ 特別支援学校教諭2種免許状を取得した後、免許状の当該学校に勤務している教員

(3) 養護教諭 1・2 種免許状を取得する場合

養護教諭 2 種又は養護助教諭免許状を有し、現在学校に勤務している養護教員

(4) 栄養教諭 1・2 種免許状を取得する場合

管理栄養士又は栄養士の免許状を有し、現在学校等に勤務している学校栄養職員

5 対象免許状及び受講定員

免許状の種類	講座 1	講座 2
幼稚園教諭 1 種		教職
小学校教諭 1 種		教職
中学校教諭 1 種		教職
特別支援学校教諭 1・2 種	特別支援教育	
養護教諭 1・2 種		教職
栄養教諭 1・2 種		教職
受講定員	80人	80人

6 講習日程、時間、科目及び講師等

講座番号	日程	講習時間	講習科目		講師
1	8月22日(月)	9:00~17:00	特別支援教育	特別支援教育基礎論 (第1欄)	奈良教育大学 教授 玉村 公二彦 教授 越野 和之
	8月23日(火)	9:00~17:00			
2	8月29日(月)	9:00~17:00	教職	開発的・予防的生徒指導の理論と実践 (第4欄)	奈良教育大学 准教授 粕谷 貴志
	8月30日(火)	9:00~17:00			

7 単位

修得単位は各科目とも1単位とし、定められた授業時数を出席し、試験その他による成績審査に合格した者に授与する。

8 受講料

徴収しない。ただし、受講に要するテキスト代及び教材費等は受講者の負担とする。

9 受講申込み

申込みは、郵送により行うこと。

(1) 受講申込手続き

受講希望者は、次の書類を提出すること。

ア 平成28年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習受講申込書(別記様式1)

イ 平成28年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習受講通知書(別記様式2)

ウ 返信用封筒 — 長形3号(12cm×23.5cm)糊付き封筒に82円切手を貼り、宛先を明記

(2) 申込期限

平成28年6月10日(金)消印有効

(3) 申込先

〒630-8502 奈良県教育委員会事務局 教職員課 定数管理係
表に「認定講習申込書在中」と明記すること。

TEL 0742-27-9805

10 受講者の決定

(1) 受講希望者が定員を超える場合は、現在教諭の職にある者を優先し、在職年数・既修単位数等を考慮し受講者を決定する。

(2) 特別支援教育に関する科目については、現在特別支援学校の教諭の職にある者を優先する。

(3) 奈良県内の学校勤務者を優先し、受講人員に余裕がある場合には他府県からの受講を許可する。

11 その他

(1) 必要事項については、受講通知の際に連絡する。

(2) 免許状取得に必要な単位数については、(別紙)を参考にすること。

(3) 受講希望者が少ない講座については、講習を中止する場合がある。

(4) 他府県で実施される認定講習の受講希望者は、奈良県教育委員会事務局教職員課定数管理係(担当 東畠)に概要を確認した上で、受講手続きをすること。

(別紙)

上級免許状取得のための最低修得単位数

1 小学校・中学校 1 種免許状

2 種免許状での実務年数が 12 年以上（4 年制大学卒業等の場合は、6 年以上）の場合

※ 中学校は各教科の 2 種免許状での実務年数

	教科	教職	教科又は教職	合計
小学校 1 種	1 単位	7 単位	2 単位	10 単位
中学校 1 種	3 単位	5 単位	2 単位	10 単位

2 養護教諭 1・2 種免許状

(1) 養護教諭 1 種免許状・・・2 種免許状での実務年数が 5 年以上の場合

(2) 養護教諭 2 種免許状・・・臨時免許状での実務年数が 10 年以上の場合

	養護	教職	養護又は教職	合計
養護教諭 1 種	4 単位	4 単位	2 単位	10 単位
養護教諭 2 種	4 単位	4 単位	2 単位	10 単位

3 特別支援学校教諭 1・2 種免許状

(1) 特別支援学校教諭 1 種免許状・・・特別支援学校教諭 2 種免許状取得後、特別支援学校で教員として実務年数 3 年以上

(2) 特別支援学校教諭 2 種免許状・・・幼稚園、小学校、中学校又は高等学校教諭免許状取得後、免許状の当該学校で教員として実務年数 3 年以上

免許法施行規則の科目区分	特別支援教育に関する科目				
	第 1 欄	第 2 欄	第 3 欄		
	特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育領域に関する科目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	選択	合計
特別支援学校 1 種		4 単位	1 単位	1 単位	6 単位
特別支援学校 2 種	1 単位	3 単位	2 単位		6 単位
特別支援学校免許状取得のための奈良県認定講習での開講科目	特別支援教育基礎論				

4 栄養教諭1・2種免許状

- (1) 栄養教諭1種免許状・・・管理栄養士免許取得後又は管理栄養士養成課程を修了し栄養士免許取得後、学校栄養職員としての実務年数が3年以上の場合
- (2) 栄養教諭2種免許状・・・栄養士免許取得後、学校栄養職員としての実務年数が3年以上の場合

	栄 養	教 職	合 計
栄養教諭1種	2単位	8単位	10単位
栄養教諭2種	2単位	6単位	8単位

教諭又は養護教諭の普通免許状を有する者は、「栄養」に係る教育に関する科目の2単位のみで免許取得可能

※ 現在、学校等に勤務している学校栄養職員に限る。

別記様式 1

平成28年度奈良県教育委員会教育
職員免許法認定講習受講申込書

勤務校・職名等	都道府県		学校名	
	職名		TEL	
現住所	(TEL)			
(フリガナ) 氏名		性別	生年月日	年 月 日 年齢
取得希望 免許状	[] 教諭 [] 種免許状・教科又は領域 [] (中学校教諭免許状の場合は教科、特別支援学校教諭免許状の場合は領域 を記入すること。)			
受講希望 科目名	講座番号	科目名	講座番号	科目名
所有(基礎) 免許状	[] 教諭 [] 種免許状・教科 [] 取得年月日 年 月 日 (取得希望免許状の基礎となる免許状を記入すること。) 基礎となる免許状で勤務した年数 年 月(平成28年6月1日現在) (特別支援学級担任経験のある方) 年 月(平成28年6月1日現在) [] 免許状 取得年月日 年 月 日 (栄養教諭免許状希望者は、管理栄養士又は栄養士のいずれかを記入す ること。)			
取得希望免許状 に関して認定講 習等で既に修得 した科目名及び 単位数 (履修科目がな い場合は斜線 を引くこと)	科目名	単位数	科目名	単位数
奈良県単位台帳登録番号				
手話通訳・要約筆記の必要の有無		()手話通訳を必要とする ()要約筆記を必要とする		
上記教員の受講を認めます。 平成28年 月 日 学校(園)長名 印				

- (注) 1 「奈良県単位台帳登録番号」欄は、必ず記入すること。
記入例・・・「あー354」のように記入し、初めて受講する者は「初」と記入すること。
2 用紙はA4縦長の大きさにすること。
3 手話通訳、要約筆記を必要とする場合は、必要な方に○印をつけること。

**平成 2 8 年度奈良県教育委員会教育
職員免許法認定講習受講通知書**

勤 務 校	都道府県		学校名	
現 住 所				
氏 名				
取 得 希 望 免 許 状	[] 教諭 [] 種免許状・教科又は領域 [] (中学校教諭免許状の場合は教科、特別支援学校教諭免許状の場合は領域を記入すること。)			
受 講 希 望 科 目 名	講座番号	科 目 名		許 可 等
				※ 許 可 ・ 不 許 可
				※ 許 可 ・ 不 許 可
※ 平成 2 8 年 月 日 奈良県教育委員会事務局 教 職 員 課 長				

- (注) 1 ※欄以外は本人が記入すること。
 2 用紙はA 4 縦長の大きさにすること。

平成28年5月12日

各市町村教委教育長
各公立小・中学校長
各 県 立 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

「大学院修学休業制度」による教員の大学院研修について（通知）

このことについて、平成13年4月1日施行の「大学院修学休業実施要綱」に基づき、専修免許状を取得するため大学院入学を平成28年度中に志願する教員がいる場合、別紙「『大学院修学休業制度』による教員の大学院研修に関する留意事項」を参考にし、下記事項に留意の上、必要書類を取りまとめ提出願います。

記

1 提出書類

(1) 市町村立（組合立）学校の教員（県費負担教員に限る。）の場合

- ア 受験同意願（第1号様式）
- イ 学校長副申（第2号様式）
- ウ 協議書（第3号様式）

(2) 県立学校の教員の場合

- ア 受験同意願（第1号様式）
- イ 学校長副申（第4号様式）

2 提出先

奈良県教育委員会事務局教職員課

3 提出期限

受験する大学院の出願期間の初日の1か月前まで（外国の大学の場合は、2か月前まで）

4 備 考

- (1) 取得しようとする専修免許状に係る基礎となる免許状の所有を確認すること。
- (2) 各大学大学院の募集要項等については志願者各自で入手させること。
- (3) 受験同意及び休業許可手続等については、別添留意事項を参照すること。
- (4) 外国の大学院における専修免許状取得については、単位認定が必要であるため事前に

県教育委員会へ相談すること。

(5) 問合せ先

奈良県教育委員会事務局教職員課人事企画係（担当 鎌田）

TEL 0742-22-1101（内線 5238）

0742-27-9844（直通）

FAX 0742-24-7256

<別紙>

「大学院修学休業制度」による教員の大学院研修に関する留意事項

平成13年4月1日施行の「大学院修学休業実施要綱」に基づき、教員が大学院を受験しようとする場合は、次の各点に留意して、手続をしてください。

1 資格

次の①～③のいずれにも該当する主幹教諭、教諭、養護教諭及び栄養教諭

- ① 申請時において県内公立学校における3年以上の教職経験を有し、かつ、定年退職日までに5年以上の期間を有する者
- ② 各大学の大学院募集要項に規定される資格を有する者
- ③ 取得しようとする専修免許状に係る基礎となる免許状を既に所有し、専修免許状を新たに取得しようとする者

2 入学志願者の受験等に際する同意及び修学休業許可を得るための手続

- ① 市町村立（組合立）学校の教員（県費負担教職員に限る。）の場合
 - ・ 受験しようとする者は、受験同意願（第1号様式）及び学校長副申（第2号様式）を市町村教育委員会教育長に提出する。市町村教育委員会教育長は、協議書（第3号様式）に上記書類を添付して県教育委員会教育長に提出し、受験同意を得る。
 - ・ 同意を受けた受験者は、試験の結果を、可否の如何に関わらず、速やかに大学院等受験結果報告書（様式任意、通知書写し添付）により、市町村教育委員会教育長を通じ、県教育委員会教育長に報告する。
 - ・ 合格者は、速やかに修学休業許可申請書（第5・6号様式及び「大学院修学休業許可申請について（内申）」）を、市町村教育委員会教育長を通じ、県教育委員会教育長に提出する。
- ② 県立学校の教員の場合
 - ・ 受験しようとする者は、受験同意願（第1号様式）及び学校長副申（第4号様式）を県教育委員会教育長に提出し、受験同意を得る。
 - ・ 同意を受けた受験者は、試験の結果を、可否の如何に関わらず、速やかに大学院等

受験結果報告書（様式任意、通知書写し添付）により、学校長を通じ、県教育委員会教育長に報告する。

- ・ 合格者は、速やかに修学休業許可申請書（第5・7号様式）を、学校長を通じ、県教育委員会教育長に提出する。

3 受験同意

次のいずれかに該当する場合は、県教育長は、同意願出者が試験を受けることに同意しないものとする。

- ① 同意願出者の履修しようとする大学院の課程等が、当該履修により専修免許状の授与を可能とするような形態になっていないとき。
- ② 大学院の課程等に係る在学形態が、当該同意願出者の本来の勤務と両立するものであるとき。
- ③ 職務を通じて培った課題意識を基にして大学院の課程等において専門的な研究に従事することにより、その資質を高め、その研究の成果を学校教育に還元するという研修意欲が、当該同意願出者において不十分であると認められるとき。
- ④ 休業を許可することによって、学校運営、人事管理等における著しい支障が生じるものと認められるとき。

4 その他

- ① 大学院修学休業期間は、原則として2年以内で年を単位とする。
(やむを得ない理由で、研修期間を延長しなければならない場合は、3年間を限度とする。)
- ② 大学院修学休業期間内において休職・停職処分を受けた場合や、休学・退学、あるいは頻繁な授業欠席等研修状況に変化があった場合は、大学院修学休業許可の失効、取り消し等必要な措置をとる。

(第1号様式)

大学院修学休業のための大学院等受験同意願

年 月 日

〇〇〇教育委員会教育長 殿

所属校名

職名 氏 名 印

教育公務員特例法第5章の規定に基づく大学院修学休業をするために、下記のとおり、大学院の課程等に係る入学者選抜試験を受けたいので、受験に同意くださいますようお願いいたします。

記

1 受験しようとする大学院の課程等

(1) 名称

(2) 所在地

(3) 履修予定内容

(4) 入学者選抜試験

① 出願期間 年 月 日 から 年 月 日 まで

② 試験実施日 年 月 日 から 年 月 日 まで

③ 受験結果(合否)判明日 年 月 日

2 大学院修学休業期間 年 月 日 から 年 月 日 まで
(年間)

3 現在所有している免許状の種類及び当該免許状使用期間(受験年度末日現在)

所 有 免 許 状	使 用 期 間
	年
	年
	年

4 取得しようとする専修免許状の種類 []

5 添付書類

① 上記3の免許状の写し(両面コピーで校長の原本証明を受けたもの)

② 履歴書

③ 受験しようとする大学院の課程等に関する資料

6 その他特記事項

(第2号様式)

文 書 番 号
年 月 日

市町村教育委員会教育長 殿

学校長 氏 名 印

大学院修学休業のための大学院等受験同意について（副申）

このことについて、年 月 日付けで下記教員から別添のとおり、大学院等受験同意の願い出がありましたので、下記のとおり副申します。

記

1 受験志願者氏名等

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	所有免許状及びその使用期間	校務分掌等
					年	
					年	

(年齢及び経験・勤務年数・使用期間：受験年度末日現在)

2 受験を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	試験日	合格発表日

3 学校運営上の支障の有無

4 学校長所見

(第3号様式)

文 書 番 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

市町村教育委員会教育長名 印

大学院修学休業のための大学院等受験同意について（協議）

下記の教員が大学院修学休業のための大学院等の受験を志願しております。受験することに同意したいので、協議します。

記

1 受験志願者氏名等

所属学校名	職名	氏 名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	所有免許状及びその使用期間
						年
						年

(年齢及び経験・勤務年数・使用期間：受験年度末日現在)

2 受験を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	試験日	合格発表日

3 所 見

4 勤務状況

5 健康状況

(第4号様式)

文 書 番 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

学校長 氏 名 印

大学院修学休業のための大学院等受験同意について（副申）

このことについて、年 月 日付けで下記教員から別添のとおり、大学院等受験同意の願い出がありましたので、下記のとおり副申します。

記

1 受験志願者氏名等

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	所有免許状及びその使用期間	校務分掌等
					年	
					年	

(年齢及び経験・勤務年数・使用期間：受験年度末日現在)

2 受験を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	試験日	合格発表日

3 学校長所見

(第5号様式)

大学院修学休業許可申請書

年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

申請者 所 属 名 _____
職 名 _____
氏 名 _____ 印

下記のとおり、大学院修学休業の許可を申請します。

記

- 1 現在所有している免許状の種類 []
- 2 取得しようとする専修免許状の種類 []
- 3 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	入学予定日	備 考

- 4 休業予定期間 _____ 年 月 日 から _____ 年間
- 5 過去に大学院修学休業を取得した期間
(有・無) _____ 年 月 日 から _____ 年 月 日まで
- 6 履歴 (別添 履歴書のとおり)

(第6号様式)

文 書 番 号
年 月 日

市町村教育委員会教育長 殿

学校長 氏 名 印

大学院修学休業許可申請について（副申）

このことについて、下記の者が大学院修学休業を申請しておりますので、副申します。

記

1 大学院修学休業申請者

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	校務分掌等

(年齢及び経験・勤務年数：休業開始年4月1日現在)

2 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	入学日	修学予定期間

3 学校長所見

(第7号様式)

文 書 番 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

県 立 学 校 長 名 印

大学院修学休業許可申請について（副申）

このことについて、下記の者が大学院修学休業を申請しておりますので、副申します。

記

1 大学院修学休業申請者

職 名	氏 名	年 齢	経 験 年 数	現 任 校 勤 務 年 数	所 有 免 許 状

(年齢及び経験・勤務年数：休業開始年4月1日現在)

2 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	入学日	修学予定期間

3 学校長所見

文 書 番 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

市町村教育委員会教育長名 印

大学院修学休業許可申請について（内申）

このことについて、下記の者が大学院修学休業を申請しておりますので、内申します。

記

1 大学院修学休業申請者

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	所有免許状

（年齢及び経験・勤務年数：休業開始年4月1日現在）

2 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	入学日	修学予定期間

3 教育長所見

教 職 第 8 7 号

平成28年5月12日

各市町村教委教育長 }
各学校（園）長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成29年度奈良県・大和高田市公立学校
教員採用候補者選考試験の実施について（通知）

このことについて、別紙のとおり行いますので通知します。

平成29年度奈良県・大和高田市 公立学校教員採用候補者選考試験受験案内

奈良県教育委員会
大和高田市教育委員会

【受付期間】（郵送・インターネット）

平成28年5月11日（水）～27日（金）（消印有効）

【第1次試験】

平成28年7月9日（土）（筆記試験）

7月16日（土）～18日（月）いずれかの指定された1日（集団面接（個別））

【第2次試験】

平成28年8月13日（土）・14日（日）いずれかの指定された1日（実技試験）

8月15日（月）（集団面接（討議））

8月17日（水）～21日（日）いずれかの指定された1日（個人面接）

今年度の教員採用試験の特徴（主な変更点）

- ・集団面接（個別）を第1次試験で、集団面接（討議）を第2次試験で実施します。
- ・教職経験特別選考の受験資格で、受験する校種等に限らず、全ての校種等（こども園・幼稚園・保育所を除きます）の勤務月数を通算します（詳細はP2参照）。
- ・小学校英語教育推進特別選考に加えて、中学校・高等学校英語教育推進特別選考を実施します。
- ・「教職経験特別選考」と「小学校英語教育推進特別選考」が併願受験できるなど、各選考で併願受験が可能となりました（組み合わせは、P2～P4の各選考の記載内容で確認してください）。
- ・加点内容及び点数を見直しました（詳細はP8参照）。
- ・実習助手の第1次試験は、一般教養に加えて集団面接（個別）を実施します。

〔1〕募集する校種等、教科等及び採用予定者数

校種等	教科等	H29採用予定者数
小学校	※ 小学校英語教育推進特別選考も含む。	170人程度
中学校	国語16人程度、社会13人程度、数学16人程度、理科13人程度 音楽7人程度、美術6人程度、保健体育14人程度 技術・家庭計7人程度、外国語（英語）16人程度	108人程度
高等学校	国語10人程度、地理歴史5人程度、数学8人程度 理科（物理、化学、生物）計5人程度、音楽1人程度 美術2人程度、書道1人程度、保健体育5人程度 外国語（英語）9人程度、家庭（調理）1人程度、農業1人程度 工業（電気・情報）1人程度、商業2人程度 ※ 国語、商業は、大和高田市立高田商業高等学校の各々1人程度を含む。	51人程度
特別支援		38人程度
養護教諭		10人程度
栄養教諭		6人程度
実習助手	工業科、工業科以外	3人程度

<別紙P 1 >

〔2〕受験資格

次の各号に掲げる要件に該当する人であること

- (1) ・昭和52年4月2日以降に生まれた人
 ・昭和41年4月2日以降、昭和52年4月1日までに生まれた人で平成28年3月31日現在において過去に3年(36月)以上教諭として勤務したことがある人(国立又は県外公立、私立学校で教諭経験を有する人は、出願時に在職証明書(在職期間が明記されているもの、様式自由)を提出する必要があります)
 ・昭和32年4月2日以降に生まれた奈良県公立学校栄養職員(任期の定めのない人に限る)で、平成28年3月31日現在において過去に3年(36月)以上勤務実績を有する人
 ※ 教諭経験月数には、臨時的任用又は任期付採用の本県公立学校常勤講師(市町村費常勤講師を含む)の経験月数を、栄養教諭にあつては本県公立学校栄養職員の経験月数を、実習助手にあつては臨時的任用又は任期付採用の本県公立学校常勤講師、実習助手、寄宿舎指導員の経験月数をそれぞれ含みます(いずれも非常勤職員の期間を除く)。
 なお、教育公務員特例法施行令第3条3項に該当する場合は勤務年数から除きます。
- (2) 受験する校種等で以下の免許状を所有する人(平成29年3月31日までに取得見込みの人を含む)で、所有する免許状の有効な状態を平成29年4月1日現在で保持できる人

校種等	所有する教育職員免許状及び資格
小学校	小学校教諭の普通免許状所有者
中学校	受験教科の中学校教諭の普通免許状所有者
高等学校	受験教科の高等学校教諭の普通免許状所有者 家庭(調理)については、「家庭」の免許状及び調理師免許所有者
特別支援学校	特別支援学校教諭の普通免許状所有者
養護教諭	養護教諭の普通免許状所有者
栄養教諭	栄養教諭の普通免許状所有者
実習助手	教諭普通免許状の有無は問わないが、工業科の実習助手を志望する場合は、旋盤、溶接、鋳造等の実務経験又は技術を有することが望ましい。また、工業科以外の実習助手を志望する場合は、特別支援教育、医療、福祉関係又は農業教育の専門性を有することが望ましい。

- (3) 学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人
 (4) 県内どこにでも勤務できる人

〔3〕選考種別

〈1〉一般選考

- 募集する校種等、教科等
P1〔1〕募集する校種等、教科等及び採用予定者数を参照
- 受験資格 P2〔2〕受験資格(1)～(4)の全てに該当する人
- 出願手続 P4〔4〕出願手続についてを参照
- 選考方法 P5〔5〕P7〔6〕を参照
- 併願受験について
「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

〈2〉教職経験特別選考

- 募集する校種等、教科等
P1〔1〕募集する校種等、教科等及び採用予定者数を参照(実習助手を除く)
- 受験資格
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること
 (1) 昭和41年4月2日以降に生まれた人又は昭和32年4月2日以降に生まれた本県公立学校栄養職員(任期の定めのない人に限る)
 (2) P2〔2〕受験資格(2)(3)(4)の全てに該当する人
 (3) 現に国立及び公立(奈良県以外)の学校教諭、私立学校の正規の現職教員として平成28年3

<別紙P 2>

月31日現在において3年以上勤務している人、若しくは奈良県内の公立学校において、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間で通算3年(36月)以上**常勤講師の経験**がある人

※ 1月に満たない場合は、それぞれの日数を通算し、30日を1月とみなします。ただし、通算後の残り日数が15日以上の場合も1月とみなします。また、栄養教諭にあっては、本県公立学校栄養職員の経験月数を含みます。

※ 教育公務員特例法施行令第3条3項に該当する場合は勤務年数から除く。

- 3 出願手続 P4【4】**出願手続について**を参照
ただし、**国立及び公立(奈良県以外)学校教諭、私立学校の正規の現職教員は、出願時に在職証明書(在職期間が明記されているもの、様式は自由)を提出**してください。

- 4 選考方法 P5【5】P7【6】を参照
第1次試験では**一般教養試験を免除**し、教科専門及び集団面接における合格最低点(一般選考同校種等・教科等受験者)以上の人を合格とします(第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います)。

- 5 併願受験について
「小学校英語教育推進特別選考」又は「中学校・高等学校英語教育推進特別選考」と「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

〈3〉 身体に障害がある人を対象とした選考

- 1 募集する校種等、教科等
P1【1】**募集する校種等、教科等及び採用予定者数**を参照

- 2 受験資格
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること
(1) P2【2】**受験資格**(1)～(4)の全てに該当する人
(2) 自力通勤ができ、かつ、介護者なしで職務遂行が可能な人
(3) 身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級から6級までの人

- 3 出願手続 P4【4】**出願手続について**を参照
4 選考方法 P5【5】P7【6】を参照
第1次試験の筆記試験後に、**個人面接**を実施します。

- 5 併願受験について
「一般選考」又は「教職経験特別選考」、「社会人を対象とした特別選考」のいずれかと併願受験することができます。また、「教職経験特別選考」を選択した場合は、「小学校英語教育推進特別選考」、「中学校・高等学校英語教育推進特別選考」のいずれかと併願受験することができます。

〈4〉 社会人を対象とした特別選考

- 1 募集する校種等、教科等

校種等	教科等
高等学校	数学、理科(物理、化学、生物)、家庭(調理)、農業、工業(電気・情報)、商業

- 2 受験資格
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること
(1) 学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人
(2) **数学、理科(物理、化学、生物)を受験する人は、昭和52年4月2日以降に生まれた人で、大学を卒業又は大学院を修了しており、研究施設、民間企業(教育事業を除く)、官公庁等(公立学校を除く)に、現に正規職員として3年以上の勤務経験を有する人**
家庭(調理)を受験する人は、昭和47年4月2日以降に生まれた人で、調理師免許取得後、事業所等(調理師養成施設を含む)において5年以上の実務経験を有する人
農業、工業(電気・情報)、商業を受験する人は、昭和47年4月2日以降に生まれた人で、受験する教科に関わる3年以上の実務経験を有する人
※ **勤務・実務経験は、平成29年3月31日までの常勤のもの**とします。

- (3) 受験する校種、教科の**教諭普通免許状の有無は問いません**。ただし、相当の教諭普通免許状を所有しない場合は、次の条件①及び②に該当する必要があります。

① 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する人

② 教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている人

なお、この場合、**合格後に特別免許状申請の手続き**が必要となります。

- 3 出願手続 P4【4】**出願手続について**を参照
ただし、**出願時に2000字以内の自己推薦文を提出**してください。(A4判、様式自由)

- 4 選考方法 P5【5】P7【6】を参照
第1次試験における一般教養に替えて、個人面接を実施します。

- 5 併願受験について
「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

- 6 その他
第2次試験に合格した場合は、在職・勤務証明書等を提出してください。(A4判、様式自由)

《5》 小学校英語教育推進特別選考

- 1 募集する校種等、教科等
小学校（ただし、小学校英語専科担当の募集ではありません）
- 2 受験資格
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること
(1) P2【2】**受験資格**(1)～(4)の全てに該当する人
(2) 小学校教諭の普通免許状以外に、英語の中学校又は高等学校教諭普通免許状所有（平成29年3月31日までの取得見込みを含む）、若しくは P8【9】**加点申請の⑤a**に該当する人
- 3 出願手続 P4【4】**出願手続について**を参照
- 4 選考方法 P5【5】P7【6】を参照
第2次試験の内容は一般選考（小学校）と同じ実技試験、集団面接（討議）のほか、外国語活動の模擬授業を含む個人面接を行います。
- 5 併願受験について
「教職経験特別選考」及び「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。
- 6 加点について
加点が10点になります（一般選考の小学校受験者は6点、詳細はP8【9】参照）。

《6》 中学校・高等学校英語教育推進特別選考

- 1 募集する校種等、教科等
中学校外国語（英語）及び高等学校外国語（英語）
- 2 受験資格
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること
(1) P2【2】**受験資格**(1)～(4)の全てに該当する人
(2) 出願時点で、**実用英語技能検定**（日本英語検定協会）**1級合格**、**TOEFL**（国際教育交換協議会）**PBT600点**以上若しくは同**CBT250点**以上、同**iBT100点**以上、**TOEIC**（国際ビジネスコミュニケーション協会）**860点**以上取得のうち、いずれかに該当する人
- 3 出願手続 P4【4】**出願手続について**を参照
- 4 選考方法 P5【5】P7【6】を参照
第1次試験では**教科専門試験を免除**し、一般教養及び集団面接における合格最低点（一般選考同校種等・教科等受験者）以上の人を合格とします（第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います）。
- 5 併願受験について
「教職経験特別選考」及び「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

《7》 大学院・教職大学院特別選考

- 1 募集する校種等、教科等
小学校
- 2 受験資格
平成27年度又は平成28年度奈良県教員採用候補者選考試験合格者で、大学院・教職大学院特別選考受験承認書を受理している人のみ
- 3 出願手続 P4【4】**出願手続について**を参照
※ 出願時に**大学院・教職大学院特別選考受験承認書を提出**してください。
- 4 選考方法
第1次試験を免除し、第2次試験で、**集団面接（討議）及び個人面接（模擬授業を含む）**を行い再度判定します。
- 5 併願受験について
大学院・教職大学院特別選考は、ほかの選考との併願ができません。

〔4〕 出願手続について

郵送により出願する場合		インターネットで出願する場合	
受付期間	平成28年5月11日(木)～平成28年5月27日(金)	受付期間	平成28年5月11日(木)～平成28年5月27日(金)
出願書類	(1) 教員採用候補者選考試験願書等（A票・B票・C票・D票） A票・B票 は、必ず 両面印刷 をして提出してください。 C票・D票 には、 写真 を必ず貼付してください。	出願方法	奈良県ホームページ http://www.pref.nara.jp/ から「電子自治体」の e古都なら （電子申請）を選択後、申請・届出を選択してください。 (注1) 最初に、「e古都なら」メニュー中の「ご

<別紙 P 4 >

	(2) 受験票返信用封筒1通 (長3: 12.0cm×23.5cmの定形のり付封筒に242円切手(特定記録として郵送のため)を貼付し、宛先を記入したもの)		利用方法」を必ず読んでください。 (注2) 利用者IDとパスワード (利用者登録をされた方のみ)及び 整理番号とパスワード は、 受験票等をプリントアウトするときに必要になりますので、必ず控えをとっておいてください。 (注3) 申請の最後に表示される「申請完了」画面(整理番号とパスワードが表示される画面)で、「 一覧へ戻る 」をクリックすると 申請完了 となります。
郵送方法及び出願先	必ず 書留郵便 とし、 5月27日(金)までの消印のあるもの に限り受け付けます。封筒の表面に「 出願書類在中 」と 朱書き してください。 (郵送先) 〒630-8502 奈良県教育委員会事務局教職員課(住所不要) ※ 直接持参しても受付をしません。		
受験票送付	6月10日(金) に、受験票を送付します。	受験票送信	6月10日(金) にメール送信される受験番号が入力された C票(受験票)・D票(写真票) を プリントアウトし、D票に写真を貼付して6月24日(金)まで に教職員課宛に 書留郵便 で郵送してください。また、 C票にも写真 を貼付し、 第1次試験当日に持参 してください。

- ※ 提出書類に不備がある場合は受け付けない場合があります。また、提出書類は返却しません。
 ※ 郵送により出願し、6月17日(金)までに**受験票が到着しない場合は、問い合わせ先(P10参照)に連絡し確認**してください。

〔5〕試験日程及び内容等

1◆◆◆ 第1次試験受験当日の持参物 ◆◆◆

- (1) 受験票
- (2) 結果通知用封筒1通 (長3: 12.0cm×23.5cmの定形のり付封筒に**92円切手**を貼り、**宛先**を記入、封筒表面右下に**受験番号**を記入したもの)
- (3) 加點申請をした人は、申請に必要な書類のコピー(それぞれの書類の右下に受験番号を記入)
- (4) 筆記用具(鉛筆、ボールペン等)、消しゴム、上履き、靴入れ

2◆◆◆ 受験者への注意事項 ◆◆◆

- (1) **試験場への自動車等の乗り入れ及び周辺道路上、コンビニ等周辺施設への駐車は厳禁**です。
- (2) 身体に障害があり、試験会場への自動車等の乗り入れや、受験会場において配慮等を必要とする場合は、願書(B票)3「**受験上の配慮事項**」に記入してください。
- (3) 試験会場への電話等での問い合わせは、緊急の場合以外は行わないでください。
- (4) 不正行為があった場合は、受験することができません。
- (5) 暑さ対策のため、**上着・ネクタイの着用は特に必要ありません。**
- (6) **今後のお知らせは、奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページに掲載**しますので注意深く確認してください。
ホームページアドレス (<http://www.pref.nara.jp/1695.htm>)

3◆◆◆ 第1次試験について ◆◆◆

(1) 試験日程について

		身体に障害がある人を対象とした選考						配点
		一般選考		小学校 英語教育推 進特別選考	中学校・ 高等学校 英語教育推 進特別選考	教職経験 特別選考	社会人を 対象とした 特別選考	
		小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	実習助手					
第1次試験	7月9日(土) 8:50集合 試験開始 9:15	午前	一般教養 <マークシート>	一般教養 <マークシート>	一般教養 <マークシート>	一般教養 <マークシート>	個人面接	90点
			教科専門		教科専門		教科専門	教科専門
試験	16日(土) ~18日(月) 連続試験	全日	集団面接(個別)					100点

<別紙 P 5 >

- 受験票送付予定の **6月10日(金)11:00頃**に、**教職員課ホームページ**で、試験会場（県立高等学校）及び各校種等、教科等の**集団面接日等**をお知らせする予定です。
- **各受験者**の具体的な集団面接の日時は、**7月13日(水)11:00頃**に**教職員課ホームページ**でお知らせする予定です。
- 筆記試験は、**試験開始後20分**までに試験会場に入室しなかった場合は、**受験できません**。
- 面接は、**集合時刻**に入室しなかった場合は、**受験できません**。
- 7月9日(土)に試験を受けなかった人は、**集団面接を受けることはできません**。

(2) 試験内容について

試験内容	実施方法	出題内容等
一般教養	マークシート	教職教養と時事問題を出題し、マークシートで解答します。
教科専門	筆記	高等学校地理歴史及び理科は、全ての領域の内容を出題範囲とする共通問題（全員解答）と選択問題（2領域を選択し、それぞれ解答）を出題します。 ※ 選択問題・・・地理歴史は世界史、日本史、地理から2領域を選択。 理科は出願時に選択した領域を含め、物理、化学、生物から2領域を選択。
集団面接（個別）	全校種	中学校及び高等学校外国語（英語）受験者は、 英語による質問 があります。

4◆◆◆ 第2次試験について ◆◆◆

(1) 試験日程について

第2次試験	日	小学校	小学校英語教育推進特別選考	小学校配点	中学校 高等学校 (実技無) 右記以外の教科	中学校・高等学校 (実技有) 中：音楽・美術・保健体育 高：音楽・美術・書道・保健体育	特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	小学校以外配点	実習助手	実習助手配点
		8月13日(土)	実技試験 音楽・体育		50点					
8月14日(日)					実技試験			100点		
8月15日(月)		集団面接（討議）		100点	集団面接（討議）			100点	集団面接（討議）	100点
8月17日(水)～ 21日(日) 筆記試験		個人面接 (模擬授業を含む)	個人面接 (外国語活動の模擬授業を含む)	250点	個人面接 (模擬授業を含む)			200点	個人面接	200点

- 第1次試験合格者は、**8月9日(火)までにプレ・レターシート**（合格通知時に同封）を教職員課宛に**郵送**してください。
- **試験会場（県立高等学校）、実技試験の班編制及び個人面接の日時等、第2次試験に関わる内容は、8月9日(火)11:00頃に教職員課ホームページでお知らせする予定です。**
- 面接、実技試験は**集合時刻**に入室しなかった場合は、**受験できません**。

(2) 実技試験について

校種	教科	課題及び持参物等
小学校	音楽	〈歌唱〉下記の①～③のうち、当日指示する曲を無伴奏で歌唱します。※ 楽譜は試験場に用意しています。 ① 「夕やけこやけ」 中村雨紅 作詞/草川 信 作曲 ② 「さくらさくら」 (日本古謡) ③ 「茶つみ」 (文部省唱歌) 〈器楽演奏〉ピアノ、ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカの中から各自選択し、任意の曲を演奏します。 ※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。※ ピアノ以外の楽器は各自持参してください。
	体育	器械運動（マット運動）、水泳（クロール）、ボール運動（ゴール型）及び走・跳の運動（小型ハードル走等） ※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。 ※ 荒天により水泳ができない場合は、体づくり運動（多様な動きをつくる運動）を実施します。

<別紙 P 6 >

中学校 高等学校	音 楽	<p>〈ピアノによる弾き歌い〉</p> <p>下記の①～③のうち、当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて主旋律を歌唱します。</p> <p>※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。※ 調及び使用する伴奏譜については、特に指定しません。</p> <table border="1"> <tr> <td>中学校</td> <td>① 「花の街」</td> <td>江間章子</td> <td>作詞／團伊玖磨</td> <td>作曲</td> </tr> <tr> <td></td> <td>② 「早春賦」</td> <td>吉丸一昌</td> <td>作詞／中田 章</td> <td>作曲</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③ 「花」</td> <td>武島羽衣</td> <td>作詞／滝廉太郎</td> <td>作曲</td> </tr> </table>	中学校	① 「花の街」	江間章子	作詞／團伊玖磨	作曲		② 「早春賦」	吉丸一昌	作詞／中田 章	作曲		③ 「花」	武島羽衣	作詞／滝廉太郎	作曲
		中学校	① 「花の街」	江間章子	作詞／團伊玖磨	作曲											
	② 「早春賦」	吉丸一昌	作詞／中田 章	作曲													
	③ 「花」	武島羽衣	作詞／滝廉太郎	作曲													
高等学校	<p>① 「この道」</p> <p>② 「椰子の実」</p> <p>③ 「荒城の月」</p> <p>北原白秋 作詞／山田耕筰 作曲</p> <p>島崎藤村 作詞／大中寅二 作曲</p> <p>土井晩翠 作詞／滝廉太郎 作曲</p>																
	美 術	<p>〈ピアノによる弾き歌い〉</p> <p>当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて歌唱します。</p> <p>〈自由曲の演奏〉</p> <p>声楽、ピアノ又は他の楽器で任意の曲を暗譜で演奏します。</p> <p>※ ピアノ以外の楽器は各自持参してください。ただし、自動車等での持ち込みはできません。</p> <p>※ 伴奏者が必要な場合は、同伴（1名のみ）してください。</p> <p>※ 演奏する曲の楽譜を2部用意（コピーは不可）し、当日持参してください。</p>															
高等学校	書 道	書道用具を持参してください。															
中学校 高等学校	保健体育	<p>武道（柔道又は剣道を選択）、水泳（クロールと平泳ぎと背泳ぎ）、球技（ネット型：バレーボール）、ダンス（現代的なリズムのダンス）、器械運動（マット運動）、陸上競技（ハードル走）</p> <p>※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。</p> <p>※ 荒天により水泳ができない場合は、球技（ゴール型：バスケットボール）を実施します。</p>															

〔6〕 選考方法及び結果発表について

1 第1次試験の選考方法

小学校…… 一般教養（90点満点）、教科専門（200点満点）（国語・社会・数学・理科〈各45点満点〉英語（リスニングを含む）〈20点満点〉）、集団面接（個別）〈100点満点〉、加点の合計により判定します。

小学校以外… 一般教養（90点満点）、教科専門（200点満点）、集団面接（個別）〈100点満点〉、加点の合計により判定します。

なお、教職経験特別選考、中学校・高等学校英語教育推進特別選考、社会人を対象とした特別選考、実習助手については、別途判定します。

2 第2次試験の選考方法

次のそれぞれの合計得点により判定します。

小学校…… 実技試験（50点満点）、集団面接（討議）〈100点満点〉、個人面接（250点満点）

小学校以外

中高実技有…… 実技試験〈100点満点〉、集団面接（討議）〈100点満点〉、個人面接〈200点満点〉

中高実技有以外… 集団面接（討議）〈100点満点〉、個人面接〈200点満点〉

3 上記各試験には、それぞれ合格基準があり、基準に達しない場合は不合格となります。したがって、合計得点及び順位が上位であっても不合格となる場合があります。

4 第1次試験の結果は8月3日（水）、第2次試験の結果は9月16日（金）、どちらも10:00頃

に、奈良県庁正面掲示場に掲示するとともに、11:00頃に教職員課ホームページに掲載し、また、それぞれ本人宛にも通知します。ただし、電話での問い合わせには応じることはできません。

〔7〕 名簿登載及び採用についての注意事項

1 合格者は、奈良県・大和高田市（大和高田市を志望して合格した場合）公立学校教員採用候補者名簿に登載され、原則として平成29年4月1日に採用されます。

2 平成29年3月31日までに該当する受験校種等、教科等の普通免許状を取得できない場合、学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれかに該当した場合など、P2〔2〕受験資格に該当しない場合は、採用内定が取り消されます。

また、願書の記載事項に虚偽があった場合は、受験を認めないことや、採用内定を取り消すことがあります。

3 小学校を受験して合格した人で、専修免許状取得のために大学院又は教職大学院に進学・進級する場合は、辞退届（様式は自由）と次回（合格した翌年から最大2年以内）受験時のための、大学院・教職大学院特別選考受験の申請書（様式は後日、教職員課のホームページに掲載）を提出してください。次回受験時は第1次試験を免除し、第2次試験の集団面接（討議）及び個人面接（模擬授業等を含む）を

＜別紙 P 7＞

受験していただきます。

※ 大学院・教職大学院特別選考合格後に**専修免許状**が取得できない場合は、採用を取り消すこととなりますのでご注意ください。

- 4 日本国籍を有しない人を採用する場合は、任用の期限を付さない常勤講師とします。

〔8〕その他

- 1 **出願後の選考種別、受験校種等、教科等の変更は認めません。**
- 2 合格通知後であっても、第1次試験及び第2次試験で不正が発覚した場合、合格を取り消します。
また、二重に出願（郵送とインターネットでの出願等）するなどの不正があった場合は、採用試験を受けることができなくなる場合があります。
- 3 **願書送付後、採用試験を辞退する場合は、必ず教職員課長宛に辞退届（様式は自由）を提出してください。**
- 4 **合格発表の日から1月間（ただし、第1次試験合格者は、第2次試験の合格発表の日から1月間）、試験の結果（総合得点・順位及び各試験の得点）について、奈良県・大和高田市個人情報保護条例に基づき、口頭による開示を請求することができます。**
開示を請求する場合は、受験者本人が、本人であることを証明できるものを持参し、**午前9時から午後5時まで**の間に、奈良県教育委員会事務局教職員課に直接お越しください。
- 5 出願後、教職員課（0742-27-9844）より連絡を入れる場合があります。特に、携帯電話は連絡が受けられるように設定してください。

〔9〕加点申請

- 1 次の①～⑥に該当する人については、「**加点申請**」することにより**第1次試験に限り加点**します。
第2次試験と加点は無関係です。

※ **①～④に限り**平成29年3月31日までに取得見込みの人を含みます。

※ **（小学校英語教育推進特別選考受験者のみ）①はa、bのいずれかを申請**することができます。

	対象者	加点内容	加点得点	提出物
①a	小学校英語教育推進特別選考	小学校及び中学校（英語）教諭普通免許状を共に所有する人 ※ 中学校教諭普通免許状で英語以外の教科等の免許状を共に所有する人は6点（ ①bで申請 ）	10点	願書の加点申請欄に記入した免許状等のコピー 小学校教諭普通免許状 中学校教諭普通免許状 高等学校教諭普通免許状 司書教諭講習修了証書
①b	小学校 小学校英語教育推進特別選考	小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有する人	6点	
②	中学校	小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有する人 又は「音楽」「美術」「技術」「家庭」を含む中学校教諭普通免許状を複数所有する人	6点	
③	中学校	司書教諭の資格を所有する人	6点	
④	高等学校	受験する高等学校教諭普通免許状と「情報」の高等学校教諭普通免許状を共に所有する人	6点	実施団体が発行する資格証明書のコピー
⑤a	小学校英語教育推進特別選考	実用英語技能検定（日本検定協会） 準1級 以上合格、 TOEFL （国際教育交流協議会） PBT550点 以上若しくは 同CBT213点 以上、 同iBT80点 以上、 TOEIC （国際ビジネスコミュニケーション協会） 730点 以上取得のうち、いずれかに該当する人	10点	
⑤b	小学校 中学校英語 高等学校英語	実用英語技能検定（日本検定協会） 準1級 以上合格、 TOEFL （国際教育交流協議会） PBT550点 以上若しくは 同CBT213点 以上、 同iBT80点 以上、 TOEIC （国際ビジネスコミュニケーション協会） 730点 以上取得のうち、いずれかに該当する人	6点	
⑥	全校種	臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士のいずれかの資格を所有する人	6点	資格証明書のコピー

- 2 申請する場合は、願書A票の「**加点申請**」に必要事項を記入してください。
- 3 加点申請する人は、上記の**提出物を7月9日（土）に試験会場に持参**してください。
- 4 **①～④の取得見込みで採用試験に合格した人は、取得後に必ず免許状等のコピーを奈良県教育委員会事務局教職員課まで持参してください。**
提出しない場合又は取得見込みで受験し、平成29年3月31日までに取得できなかった場合、加点が無効となり、採用内定を取り消す場合があります。

[10] 願書・受験票・写真票の記入上の注意

下記の文章をよく読んで、**黒色ボールペン**を使用し、誤りがないように記入してください。

※印欄は記入しないでください。

【願書(A票)】【受験票(B票)】【受験票(C票)】【写真票(D票)】

受験する校種等、教科等を記入してください。

高校国語、商業で受験する人は、**県立学校と大和高田市立学校を併願受験**することができますので、**志望順位**(1、2)の数字を記入してください。

受験者と**確実に連絡がとれる住所**、携帯電話番号(固定電話番号)を記入してください。

該当する番号に○をつけ、4 その他 の場合のみ()に詳細を記入してください。

加点を申請する場合は、**受験案内P8【9】**を参照のうえ、該当する申請欄に**必ず○**を記入してください。**記入漏れの場合は加点の対象となりませんのでご注意ください。**

(1) **高等学校入学**からの履歴を記入してください。
 (2) 過去に教諭・講師歴のある場合は、必ず記入してください。その際、**教諭、本県公立学校栄養職員、講師(県費定数内講師、県費補充講師、県費非常勤講師、市町村費講師、私立講師等)の職名を記入**してください。
 (3) **賞罰も必ず記入**してください。

通信教育等で免許を取得された場合は、B票履歴事項「通信教育等での免許取得」欄に取得年月日と大学等を記入してください。

教諭(任期の定めのない奈良県公立学校栄養職員を含む)として勤務経験を有する場合は、記入してください。

(身体に障害がある人を対象とした選考を**希望する場合のみ**)
 受験に際して希望する事項があれば記入してください。

平成29年度奈良県・大和高田市公立学校
教員採用候補者選考試験願書 A票

受験番号: _____

受験する校種等、教科等: _____

志望順位: _____

性別: _____ 生年月日: _____ 年齢: _____

最終学校: _____ 学部: _____ 科: _____

職歴: _____

通信教育等での免許取得: _____

身体障害者手帳: _____

併願受験については、**受験案内P2~P4で確認**のうえ、

- 1 一般選考
- 2 教職経験特別選考
- 3 身体に障害がある人を対象とした選考
- 4 社会人を対象とした特別選考
- 5 小学校英語教育推進特別選考
- 6 中学校・高等学校英語教育推進特別選考
- 7 大学院・教職大学院特別選考の番号を○で囲んでください。

平成29年4月1日現在の年齢を記入してください。

最終学校となる大学等の名称を記入してください。ただし、大学卒業後、教員免許状を取得するための**通信課程は、最終学校にはなりません**ので記入しないでください。

下記の例に従って記入してください。平成元年3月31日までに免許状を取得している人は“級”を“種”に読み替えて記入してください。(高等学校教諭の普通免許状についてのみ、2級→1種、1級→専修に変わります。そのほかの校種は、2級→2種、1級→1種と読み替えてください。)

(例)
 小学校教諭1種免許状 → 小1種
 高等学校教諭専修免許状 → 高専修
 中学校教諭2種免許状 → 中2種
 養護学校教諭1種免許状 → 養学1種
 養護学校教諭2種免許状 → 養学2種
 盲学校教諭1種免許状 → 盲1種
 特別支援学校教諭1種免許状 → 特支1種

【加点申請】

加点を申請する場合は、下の加点項目①～⑥に該当する申請欄に○を記入し、①～⑥取得済みの場合は○印を、取得見込みの場合は△を()に記入し、必要事項を記入してください。なお、④～⑥については申請時に取得済みのみとします。

申請欄	対象者	加点項目
①a	小英特別	小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状(英語)
①b	英・日・英語	小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状(英語)
②	中学校	小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状(英語)
③	中学校	司書教諭の資格
④	高等学校	高等学校教諭普通免許状(英語情報)(英語)
⑤a	小英特別	英検準1級以上、TOEFL PBT550点以上、CBT213点以上、
⑤b	小英・英語	英検準1級以上、TOEIC730点以上 [資格]
⑥	全校種	臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士いずれかの資格

B票

1 履歴事項 (高等学校入学からの履歴を記入してください。)

年	月	日	学歴・職歴(職名)・賞罰
H22	4	1	(例) 〇〇県立△△高等学校 (学歴)
			(職歴)
			(賞罰)
			(現任校)

教諭経験月数: _____ 月 (任期の定めのない人) を含む

奈良県内非常勤講師経験月数: _____ 月

職員番号: _____

身体障害者手帳

障害者手帳	交付機関	交付年月日	年	月	日
_____	_____	_____	_____	_____	_____

※ C票・D票は上記A票注意事項を参照

<別紙 P 9 >

- 29 -

【11】 提出物チェックシート

- 下のチェックシートで提出物に不備がないか十分に確認してください。
- 提出書類に不備がある場合は受け付けない場合があります。また、提出書類は返却しません。
- 郵送により出願し、6月17日(金)までに受験票が到着しない場合は、下記の問い合わせ先に連絡し確認してください。

● 5月27日まで 〈出願時〉

チェック欄

1	郵送による出願者	【願書(A票)(B票)】(ダウンロードの場合は必ず両面印刷)	<input type="checkbox"/>
2	郵送による出願者	【受験票(C票)】【写真票(D票)】の写真貼付	<input type="checkbox"/>
3	郵送による出願者	受験票返信用封筒1通(長3、のり付き、242円切手、宛名)	<input type="checkbox"/>
4	インターネット出願者	利用者ID、整理番号、パスワードをメモする。	<input type="checkbox"/>
	利用者ID	整理番号	パスワード
5	一般選考受験者のうち、昭和41年4月2日以降、昭和52年4月1日までに生まれ、平成28年3月31日現在において過去に3年以上国立又は県外公立、私立学校で教諭経験を有する者のみ 教職経験特別選考受験者のうち、現に国立又は県外公立、私立学校で教諭経験を有する者のみ	在職証明書(在職期間が明記されているもの、様式自由)を、郵送による出願者は同封、インターネット出願者は書留郵便で郵送	<input type="checkbox"/>
6	社会人特別選考受験者のみ	2000字以内の自己推薦文を、郵送による出願者は同封、インターネット出願者は書留郵便で郵送	<input type="checkbox"/>

● 6月10日 〈C票・D票送信時〉

1	インターネット出願者	【写真票(D票)】プリントアウトし写真貼付のうえ、6月24日(金)までに書留郵便で郵送	<input type="checkbox"/>
---	------------	---	--------------------------

● 7月9日 〈第1次試験時〉

1	全受験者	【受験票(C票)】写真貼付持参	<input type="checkbox"/>
2	全受験者	結果通知用封筒1通(長3、のり付き、92円切手、宛名)持参	<input type="checkbox"/>
3	加点申請者のみ	申請書類のコピー(取得見込みの免許状除く)持参	<input type="checkbox"/>

<問い合わせ先>

奈良県教育委員会事務局教職員課人事企画係
TEL 0742-27-9844(直通)

<別紙P10>

各市町村教委教育長
各中学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

平成28年度奈良県中学校理科教育研究会
研究総会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

生徒が主体的に取り組む学習を目指した授業の研究及び研究発表を通して、教員の指導力の向上を図り、併せて理科教育の振興・充実に役立てる。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県中学校理科教育研究会

3 期日及び会場

平成28年6月9日（木）

奈良市立平城東中学校

4 参加対象者

県内中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の教員

5 日 程

12:30～12:40 日程説明

12:40～13:45 総 会

13:50～14:20 ブロック別研究協議

- 14 : 30 ~ 15 : 20 公開授業
 15 : 30 ~ 16 : 00 研究協議
 16 : 10 ~ 16 : 30 指導助言とまとめ
 16 : 30 ~ 16 : 40 閉会行事

6 内 容

(1) 公開授業

学 年	単 元 名	指 導 者
第1学年	植物のくらしとなかま	吉岡 照子
第2学年	化学変化と原子・分子	古庄 優紀

(2) 研究協議

協議題 中学校における理科教育について
 ~奈良県立高等学校入学者選抜学力検査問題の考察から~

(3) 指導助言者

奈良教育大学 教授 森本 弘一
 県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 長田 真範
 県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 富倉 勇

7 参加申込み

平成28年4月7日付け週報第2243号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、平成28年5月31日（火）までに、下記宛てFAXで申し込むこと。

東吉野村立東吉野中学校 教諭 矢奥 泰久

FAX 0746-42-0018

8 その他

会場校へは公共の交通機関を利用すること。

教学第146号

平成28年5月12日

各市町村教委教育長
各公立中学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

】 殿

奈良県教育委員会教育長

平成29年度奈良県立高等養護学校入学者選抜要項について（通知）

このことについて、別紙のとおり定めましたので、関係者にお知らせ願います。

なお、このほかの各特別支援学校の募集要項については、10月上旬に通知します。

(別紙)

平成29年度奈良県立高等養護学校入学者選抜要項

平成29年度奈良県立高等養護学校の第1学年入学者の募集及び選抜は、この要項に基づいて実施します。

1 応募資格

(1) 自力通学ができる等一定の社会的適応力を有する知的障害者で、保護者とともに奈良県に居住するもの又は特別の事情があるもののうち、次のアからウまでのいずれかに該当するもの。

ア 特別支援学校中学部若しくは中学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者

イ 中等教育学校前期課程を修了（以下「卒業」に含めます。）した者又は平成29年3月卒業見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第95条各号のいずれかに該当する者

(2) (1)の「特別の事情があるもの」とは、次のア又はイのいずれかに該当する者であつて、奈良県教育委員会教育長に入学志願許可申請を行い、その承認を受けたもののことをいいます。

ア 出願当時は他の都道府県に居住しているが、入学時には保護者とともに奈良県内に居住することが確実である者

イ その他やむを得ない事情がある者

2 募集する学科及び人員

産業科 88人

3 出願手続

出願は次の点に注意して、入学願書等定められた書類を卒業した学校又は在学している学校の校長を経て提出してください。郵送による書類の提出は認めません。

(1) 受付期間

平成28年10月12日（水）及び同月14日（金）午前9時から午後4時まで

(2) 出願書類

ア 入学願書(別に定める用紙)

イ 調査書(別に定める用紙)

別に定める用紙に卒業した学校又は在学している学校の校長が作成してください。

ウ 返信用封筒1通（結果の通知に使用します。特定記録郵便とし、長形3号120mm×235mmに252円分の切手を貼り、宛先を明記したもの。）

(3) 出願書類の交付

平成28年9月8日（木）及び同月9日（金）午前9時から午後4時まで

郵送を希望する場合は、生徒1人に付き返信用封筒（角形2号240mm × 332 mmに140円分の切手を貼り、宛先を明記したもの。）を同封して、請求してください。

(4) 出願書類提出先

奈良県立高等養護学校

〒636-0344 磯城郡田原本町宮森34番地の1

TEL 0744-33-2626

(5) 入学相談

出願に当たっては、事前に必ず高等養護学校の入学相談を受けてください。

実施期間は、平成28年7月28日（木）から8月4日（木）までです。

詳細については、高等養護学校にお問い合わせください。

(6) 備考

やむを得ない事由により入学相談を受けていない者にあつては、平成28年10月7日（金）までに当該者が在籍する学校の校長から申請してください。事由について審議した後、学校長に連絡します。

4 入学者の選抜

(1) 実施内容

ア 国語及び数学の学力検査

イ 実技検査

(2) 日程

平成28年11月16日（水）

午前8時30分～正午まで（学力検査・実技検査）

(3) 選抜の方法

各検査の結果及び受検者の障害等の状態、適性等を総合的に審査し、学校長が選抜します。

(4) 備考

実施の詳細は、学校長が別に定めます。

5 結果の通知

平成28年11月22日（火）に、選抜の結果を保護者宛てに発送します。

6 その他

(1) 奈良県立特別支援学校高等部又は高等学校（高等専門学校及び中等教育学校後期課程を含みます。）に在籍している者は、出願できません。

(2) 選抜の結果、入学許可候補者となった者は、奈良県立特別支援学校高等部又は奈良県内の公立高等学校への出願はできません。

(3) 平成29年度の入学者は、第2学年から職業に関するコースに応じて本校及び高等学

校における分教室で学習します。(分教室を設置している高等学校は、高円高等学校、山辺高等学校、二階堂高等学校です。)

(4) この要項で定めるもののほか、必要な事項は別に定めます。

各市町村教委教育長
各 小 学 校 長
各 特 別 支 援 学 校 長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

平成28年度奈良県小学校教科等研究会音楽部会 前期研究大会及び総会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひ
します。

記

1 目 的

子どもたち一人一人が音楽の楽しさや音楽を創造する喜びを味わえるよう、音楽教育の指
導内容や指導方法について研修を深め、教員の指導力向上に役立てる。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県小学校教科等研究会音楽部会

3 期日及び会場

平成28年6月17日（金）

御所市立大正小学校

4 参加対象者

県内小学校及び特別支援学校小学部の教員

5 日 程

13：30～13：45	アトラクション（合唱）
13：45～14：30	公開授業
14：40～15：00	総会
15：00～15：15	指導講評
15：15～16：45	講演
16：45～16：50	閉会行事

6 内 容

(1) 公開授業

学年・組	題 材 名	指 導 者
第5学年1組	いろいろな音の響きを味わおう	大西 啓介 中西 育子

(2) 指導講評

県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 越尾 直美

(3) 講 演

演題 「歌唱・合唱のヒント ～こんなときどうする?～」

講師 作曲家 富澤 裕

7 参加申込み

平成28年4月7日付け週報第2243号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、平成28年6月10日（金）までに、下記宛てFAXで申し込むこと。

御所市立掖上小学校 西岡 伸子

FAX 0745-65-2007

教 学 第 1 7 4 号

平成28年5月12日

各市町村教委教育長 }
各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成28年度における教科書展示会の開催について（通知）

このことについて、別表の教科書センター及び教科書センター分館において、平成28年6月17日（金）から7月15日（金）までの間実施しますので、関係者にお知らせくださるとともに、教科書研究についてよろしく申し上げます。

(別表)

奈良県教科書センター一覧表

(28.4.1)

地区	名 称 (利用施設名)	所 在 地 電話番号	教科書の種類
第1	奈良教科書センター (奈良市教育センター)	奈良市三条本町13-1 0742-36-0401	小・中・特
第2	大和郡山教科書センター (大和郡山市立図書館)	大和郡山市北郡山町211-3 0743-55-6600	小・中
第3	生駒市教科書センター (南コミュニティーセンターせせらぎ)	生駒市小瀬町18 0743-77-0001	小・中
第4	生駒郡教科書センター (平群町立図書館あすのす平群)	生駒郡平群町福貴1037-2 0745-46-1120	小・中
第5	天理教科書センター (天理市教育総合センター)	天理市勾田町109-1 0743-63-0316	小・中
第6	山辺教科書センター (山添村立やまぞえ小学校)	山辺郡山添村春日1770-1 0743-85-0200	小・中
第7	宇陀市教科書センター (宇陀市立中央図書館)	宇陀市榛原萩原2610-1 0745-82-4749	小・中
第8	宇陀郡教科書センター (曾爾村役場)	宇陀郡曾爾村大字今井495-1 0745-94-2104	小・中
第9	橿原教科書センター (橿原市立図書館)	橿原市小房町11-5 0744-29-2121	小・中
第10	桜井教科書センター (桜井市立図書館)	桜井市河西31 0744-44-2600	小・中
第11	奈良県中央教科書センター (県立教育研究所)	磯城郡田原本町秦庄22-1 0744-33-8900	小・中・高・特
第12	大和高田教科書センター (大和高田市立図書館)	大和高田市西町1-45 0745-52-3424	小・中
第13	五條教科書センター (五條市立図書館)	五條市本町1-1-5 0747-22-4133	小・中
第14	御所教科書センター (御所市立図書館)	御所市13 0745-65-2580	小・中
第15	香芝教科書センター (香芝市民図書館)	香芝市藤山1-17-17 0745-77-1600	小・中
第16	葛城教科書センター (葛城市立新庄図書館)	葛城市南藤井70-1 0745-69-4646	小・中
第17	北葛城教科書センター (広陵町立図書館)	北葛城郡広陵町大字三吉396-1 0745-55-4946	小・中
第18	吉野教科書センター (吉野町立吉野小学校)	吉野郡吉野町上市2298 0746-32-4333	小・中
	吉野教科書センター川上分館 (川上村立川上中学校)	吉野郡川上村人知270 0746-52-0014	小・中
	吉野教科書センター十津川分館 (十津川村立十津川中学校)	吉野郡十津川村小原460 0746-62-0201	小・中
	吉野教科書センター下北山分館 (下北山村立下北山小学校)	吉野郡下北山村寺垣内1002 07468-6-0304	小・中
	吉野教科書センター野迫川分館 (野迫川村山村振興センター)	吉野郡野迫川村北股97-2 0747-37-2101	小・中

各市町村教委教育長
各小・中学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

平成 2 8 年度第 1 学期奈良県算数数学教育研究発表会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

学習指導要領のねらいの一層の実現を図るため、算数・数学教育の指導内容や指導方法についての研修を深め、指導力の向上に資する。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県算数数学教育研究会

3 期日及び会場

平成 2 8 年 6 月 1 7 日（金）

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄 2 2 - 1

4 参加対象者

県内小学校、中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部の教員

5 日 程

小学校部会

1 3 : 1 5 ~ 1 3 : 3 0 開会行事

1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 4 0 研究発表

1 4 : 5 0 ~ 1 5 : 5 5 平成 2 7 年度算数テストの結果と考察及び指導事例報告

1 5 : 5 5 ~ 1 6 : 0 0 閉会行事

中学校部会

13:15～13:30 開会行事

13:30～15:55 研究発表

15:55～16:00 閉会行事

6 内 容

(1) 小学校部会

ア 研究発表

研 究 内 容 及 び 発 表 者	指 導 助 言 者
<p>○「基礎基本を定着させるための授業の工夫～問題づくりを通して～」</p> <p>檀原市立金橋小学校 教諭 小泉 勝也</p> <p>檀原市立白檀北小学校 教諭 上田美佐代</p> <p>○「算数科に求められるアクティブ・ラーニングの在り方に関する研究～小学5年 分数の実践を通して～」</p> <p>斑鳩町立斑鳩西小学校 教諭 下村 勝平</p>	<p>奈良教育大学</p> <p>教授 近藤 裕</p>

イ 平成27年度算数テストの結果と考察及び指導事例報告

報 告 者	指 導 助 言 者
<p><低学年部会></p> <p>1年生</p> <p>桜井市立三輪小学校 教諭 南川 和也</p> <p>2年生</p> <p>檀原市立新沢小学校 教諭 上村 雅美</p>	<p>檀原市立白檀北小学校</p> <p>校長 森 清美</p>
<p><中学年部会></p> <p>3年生</p> <p>三宅町立三宅小学校 教諭 村田 裕美</p> <p>4年生</p> <p>五條市立西吉野小学校 教諭 森本昂一郎</p>	<p>生駒市立</p> <p>生駒南第二小学校</p> <p>校長 山中 治郎</p>
<p><高学年部会></p> <p>5年生</p> <p>奈良市立平城小学校 教諭 竹内 直樹</p> <p>6年生</p> <p>大和高田市立磐園小学校 教諭 土井 孝文</p>	<p>奈良教育大学</p> <p>教授 近藤 裕</p>

(2) 中学校部会

研究発表

研究内容及び発表者	指導助言者
○「県立中学校数学科での取組」 県立青翔中学校 教諭 木南 俊亮	県教育委員会事務局 学校教育課 指導主事 富田 英明
○「生徒が解きたくなるような課題学習の教材開発2」 奈良女子大学附属中等教育学校 教諭 横 弥直浩	

7 参加申込み

平成28年4月7日付け週報第2243号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、平成28年6月13日(月)までに、下記宛てFAXで申し込むこと。

安堵町立安堵小学校 教諭 有留 正樹

FAX 0743-57-5737

なお、小学校部会の参加者は、平成27年度会誌を持参すること。

各市町村教委教育長
各 小 学 校 長
各 特 別 支 援 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成28年度奈良県小学校体育研究会前期研究大会の 開催について（通知）

このことについて、下記により開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

「豊かなつながりを創造する体育学習～子どもと子どもとのつながり・子どもにとっての運動とのつながり・学校間のつながり～」を研究主題にすえ、小学校における体育教育の一層の充実を期するため、学校体育指導者としての資質の向上を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県小学校体育研究会

3 期 日

平成28年6月10日（金）

4 会 場

大和高田市立高田小学校

5 参加対象者

県内小学校及び特別支援学校小学部の教員

6 日 程

13:50～14:35	公開授業
14:50～15:00	全体会
15:00～16:30	講演会

7 公開授業

学年	題材名 及び 領域	場 所	指導者
2年	「みんなといっしょに楽しいこといっぱい！」 (体づくり運動)	体育館	黒石 由香里
4年	「すくすく育て わたしの体と心」 (保健)	4-1 教室	竹綱 裕美
5年	「力を合わせてタッチダウン」 (ボール運動・ゴール型)	運動場	山口 徳馬 林 佑砂依

8 講 演

講師 神戸親和女子大学発達教育学部 教授 田中 聡

9 参加申込み

平成28年4月7日付け週報第2243号掲載の参加基本様式により、職名、氏名、担当学年等（(A)項目欄）を記入の上、平成28年5月31日（火）までに下記宛て郵送又はFAXで申し込むこと。

〒639-0223 奈良県香芝市真美ヶ丘3-2-70

香芝市立真美ヶ丘東小学校内 教諭 中里 倫

TEL 0745-78-1414

FAX 0745-79-2159